

## 第1回会津若松市環境大賞受賞者

受賞者	区分	個人/団体/事業所名	功績内容
環境大賞	団体	金川町町内会	「リサイクルをとおした明るい町づくり」を目標に、リサイクルの推進、ごみ減量化活動として資源物回収を行う。この活動を効果的にするために町内を14分別収集グループに分け資源物専用ステーションを設定し、さらに6棟の資源物保管庫を設け、随時資源物搬入出来るようにするとともに、分別推進協力員を置き指導管理にあっている。また、資源物回収結果報告と正しい分別収集・ごみゼロ運動の啓蒙のため平成7年から毎月広報紙を発行している。この他にも第4日曜日を町内美化運動の日と定め、積極的な美化活動を展開している。
環境賞 (循環部門)	団体	サンフラワーの会	平成5年発足して以来、学校や幼稚園などからの給食廃油を使った石鹸づくりを実践するとともに、公民館や学校などで、廃油を使った石鹸づくりの実演をとおしてリサイクルやごみの減量化に取り組んでいる。その他にもごみ減量として、牛乳パックやペットボトル、不要になった傘の布などの再利用をするなど実践的な取り組みをとおしてリサイクルとごみの減量化に取り組んでいる。
環境賞 (美化部門)	個人	小松 昭	20年以上もの間、毎早朝行仁小学校の内外の清掃、除草、側溝の掃除の他に、花壇や菜園の水やりなどの活動を行ってきた。こうした活動が子供たちに環境美化の意識を醸成し、児童自らも率先して環境美化に努めるようになってきた。
環境賞 (環境教育部門)	個人	相田 孝子	昭和61年生生活協同組合コープ会津の理事として、組織の中にあって牛乳パックの回収をとおしたリサイクルの必要性を訴えるとともに、大気汚染調査やマイバック運動など環境に関する様々な活動に携わってきた。また、その経験を基に普及宣伝活動に取り組んでいるほか、エコリーダーとなり地域の環境活動に積極的に参加している。
環境賞 (自然環境部門)	事業所	(株) 共立土建	環境にやさしい街づくりを目指し、「花いっぱい川辺をつくる会」を発足し、第2沼川河川敷に永和小学校児童などの協力を得て、地球環境にやさしく、二酸化炭素を吸収し紙の原料にもなるケナフの栽培やコスモスやヒマワリの植栽を始めた。また栽培したケナフを原料に小学生に紙すきの体験をしてもらうことをとおして環境保全の大切さを知ってもらう活動をしている。
環境賞 (事業部門)	事業所	(株) 会津電気工事	創業以来、環境に配慮した事業活動を行っている。作業工程の中で発生する過剰仕入れを抑え、電設資材で回収できるものは区別して再利用するなど工事用廃棄物の分別とリサイクルを進め、産業廃棄物を出来るだけ少なくする取り組みをしている。また、然との共生を考慮し、環境にやさしい看板の設置、落葉樹などの植栽をし、落ち葉は腐葉土として活用している。さらに、事務所内においても節電もスイッチの一括管理による節電方法をとるなど省エネ、省資源にも配慮した活動も行っている。